

2026年度入学者用 高校入試（推薦・一般） 各教科からのアドバイス

国語

・傾向

問題の内容は、昨年と大きな変更はありません。50 分間 100 点満点です。

読解力評価を中心とする問題（評論と小説の 2 題）に、漢字の書き取りの 3 題です。

ここ数年、古文は出題されていません。

・対策

漢字の読み書きの徹底

→ 中学校までに習った漢字は確実に書けるようにしておいてください。

慣用表現・四字熟語など、言葉の意味に関する理解の徹底

→ 日常生活の中でも「語彙力」を鍛えることを意識しましょう。

読解力を身につける問題の演習

日出国で過去に出題された問題の演習

→ 国語の入試は時間との戦いです。「解き慣れ」しておくことが大切です。

数学

・傾向

大問 6 題、50 分間で 100 点満点です。大問 1, 2 は基本問題、大問 3～6 は文章問題や思考力を問う応用問題です。各分野から幅広く出題されます。

・対策

大問 1, 2 が全体の 3 分の 2 を占めるので、基本的な計算問題、1 行問題、図形問題を速く正確に解けるようにしておきましょう。

進コースを希望する人は、この基本問題を確実に解き、さらにどれだけ後半の応用問題が解けるかが可否の分かれ目になります。その応用問題では、問題文を読み取って式を立てる力が重要になる問題が出題されます。このような問題に対応するためには、普段の勉強から文章問題を論理的にかつ正確に解くようにし、さらには速く効率的にそれができるよう心がけてください。

解答は採点者が読める字で書いてください。判別不能な文字は不正解とします。

英語

・傾向

問題内容は昨年と大きな変更はありません。リスニング問題の比重が昨年度と同様です。

60 分間 100 点満点です。

リスニング試験（英検 3 級から準 2 級程度）は最後の約 15 分間で実施されます。

特に注意すべきこととしては、「文法・語彙に関する知識」、「英語による読解力」、「英語を書く力」を求められる問題が出題されます。

・対策

過去問題を解いて問題に慣れておくことはとても大事です。中学で学習する文法はしっかり理解し、知らない単語でも推測できるように長文読解にも慣れておきましょう。リスニングは、音読と書き取りをする練習をしておきましょう。

面接

（一般入試受験者のみ）

一グループ（受験生約 5 人）に面接官（教員）が 2 名つく形で、5～10 分間行います。

「本校を志望した理由」や「高校生活への期待」など一般的な質問で、特に難しいものではありません。